

以下のように、平成31年度の専門医制度に対応した、精神科専攻医を募集いたします。ご質問やお問い合わせがございましたら、
[E-mail: seishin@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:seishin@cc.okayama-u.ac.jp) にお気軽にお問い合わせください。

岡山大学病院連携施設 精神科専門医研修プログラム

- プログラム担当者 教授：山田 了士
- 専攻医の募集人数：10人(平成31年度)
- 専攻医の募集時期：

★一次募集：2018年10月22日～11月21日

* 専門医機構より募集時期が発表となり次第確定します。

採用試験：日程調整の上、行います

- 応募方法：

メールアドレスを必ず記載した履歴書を下記宛先に郵送して下さい。

試験の日程調整は下記メールより行います。

宛先：〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2丁目5番地1号

岡山大学病院 精神科神経科

担当者:川田 清宏

E-mail:seishin@cc.okayama-u.ac.jp

■ 採用判定方法:

科長・医局長が履歴書記載内容と試験結果に基づき厳正な審査
を行い、採用の適否を判断する。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室

Department of Neuropsychiatry, Okayama University
Graduate school of Medicine, Dentistry and
Pharmaceutical Sciences

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号

TEL:086-235-7242 FAX:086-235-7246

医局長 川田清宏 E-mail: seishin@cc.okayama-u.ac.jp



1、教室の特徴

岡山大学病院精神神経科は、今年（2018年）が開講123年という、長い歴史と伝統をもっています。精神疾患も患者さんの持つ問題も、非常に多様ですが、それに対応するためには精神科医療もまた多様である必要があります。私たちの教室では、様々な専門領域の医師が高いレベルで診療と研究に携わっています。教室出身の教授も日本全国に数々おられますが、460名を超える同門の精神科医の方々が多方面で活躍され、各領域での日本初の専門病院・施設・取り組みも珍しくありません。同門の先生方が有する専門医資格も日本精神神経学会はもとより、臨床精神薬理学、老年精神医学、一般病院連携精神医学（リエゾン）など各専門医が多数おり、日本神経学会の神経内科専門医も同門には30名以上いるなど、これまた多彩です。私たちの教室で研修をしていただくということは、とりもなおさず、こうした多彩なお手本が常に身近にいるということであり、高いレベルの精神医療を行うためのコモンセンスとモラルが自然と身につくということだと思います。私たちと共に、患者さんが本当に良くなるということはどういうことなのかを探っていきませんか？

2、スタッフ

教授	山田 了士 ;リエゾン精神医学 てんかん 器質性精神障害
	大西 勝 (岡山大学保健管理センター); 思春期疾患
准教授	寺田 整司 ;認知症、老年期精神障害、器質性精神障害
	清水 幸登 (岡山大学保健管理センター); 思春期疾患
講師	松本 洋輔 ;てんかん 嗜癖・依存 性同一性障害
	高木 学 ;統合失調症 躁うつ病
助教	川田 清宏 ;リエゾン精神医学 統合失調症
	井上 真一郎 ;リエゾン精神医学 産業精神医学
	岡久 祐子 ;統合失調症 うつ病 ゲノム精神医学
	小田 幸治 ;リエゾン精神医学 緩和医療
	酒本 真次 ;統合失調症 躁うつ病
	藤原 雅樹 ;うつ病 気分障害
医員	流王 雄太 吉田 美保 千田 真友子 中川 裕子 植田 真司
大学院生	大林 芳明 大島 義孝 三木 知子 矢田 勇慈 橋本 望 竹之下 慎太郎
	林 聡 河合 弘樹
レジデント	溝渕 真衣子 富永 悟 深尾 貴志 松本 正樹 山田 聡 山田 裕士
心理職員	今井 奈緒 矢部 真弓 山口 恵 廣部 貴恵 井上 尚子
作業療法士	樋之津 健二

3、研修プログラムの概要と特徴

岡山大学精神科は講座開設以来 120 年を超える歴史と伝統をもち、臨床から研究に至る幅広い領域において精神医学の発展に大きな功績を残してきました。現在も多くの教室員、出身者が日本の精神医療を牽引する存在として、幅広い領域で活躍しています。基幹病院となる岡山大学の精神科は、28 床と小規模ながら、20 名の常勤医師、10 名の指導医、7 対 1 看護の十分な看護のマンパワーを有する病棟です。個室 22 床、閉鎖病棟 14 床、最新の隔離室 2 床、身体合併症に対応できる個室も 6 床あります。元々 50 床であったスペースに 28 床としているため全体にゆったりしたスペースを確保しています。症例は、難治例を含む精神病圏・気分障害圏症例、身体合併症症例、器質性精神障害、摂食障害など含め、ほぼ全てのケースに対応しています。専攻医は教官・指導医の指導の下で入院患者の主治医となり、看護、心理、リハビリテーションの各領域で構成したチームの一員となります。各種精神疾患に対し生物学的検査・心理検査を行い、薬物療法、精神療法、修正型電気療法などを柔軟に選択した最善の治療を行っています。研修の過程でほとんどの精神疾患、治療についての基礎的な知識を身につけることが可能です。

当プログラムで連携する病院群は都市部から中山間地域に広汎に及びますが、各病院間とは従前より密接な顔の見える連携関係にあることから、研修における連携も容易です。経験できる領域の特色は下記の通りです。

1. 大規模総合病院でのリエゾン・緩和ケアと合併症医療
2. スーパー救急病棟を併せ持つ精神科救急病院での救急診療
3. 認知症疾患医療センターや認知症専門病院での診療とケア
4. 児童思春期専門施設での診療
5. 依存症専門病棟を持つ病院での診療
6. 医療観察法病棟での司法精神医学の経験
7. 精神保健行政機関などでのアウトリーチの経験
8. 中山間部を含む多様なエリアでの地域包括ケア、特にチームによる診療

臨床研究施設

岡山大学病院、岡山県精神科医療センター、慈圭病院、
きのこエスポアール病院など

総合病院

岡山大学病院、広島市民病院、岡山赤十字病院、岡山済生会病院、岡山ろうさい病院、倉敷中央病院、福山市民病院

救急病院（スーパー救急病棟）

岡山県精神科医療センター、慈圭病院、高岡病院

児童思春期病院

岡山県精神科医療センター、まな星クリニック、広島市こども療育センター、旭川荘療育医療センターなど

老年期精神疾患専門病院

慈圭病院、岡山赤十字病院、きのこエスポール病院、積善病院、こころの医療たいよの丘ホスピタル、十全ユリノキ病院、河田病院、岡山ひだまりの里病院など

依存症専門病院

岡山県精神科医療センター、希望ヶ丘ホスピタル、林道倫精神科神経科病院

地域在宅医療

岡山県精神保健福祉センター、岡山市こころの健康センター

単科精神科病院

岡山県精神科医療センター、慈圭病院、高岡病院、こころの医療たいよの丘ホスピタル、積善病院、十全ユリノキ病院、河田病院、希望ヶ丘ホスピタル、山陽病院、林道倫精神科神経科病院、万成病院、岡南病院、まきび病院、ももの里病院、由良病院、赤穂仁泉病院、魚橋病院、千鳥ヶ丘病院、福山こころの病院、福山友愛病院、府中市立湯が丘病院、三船病院、西紋病院

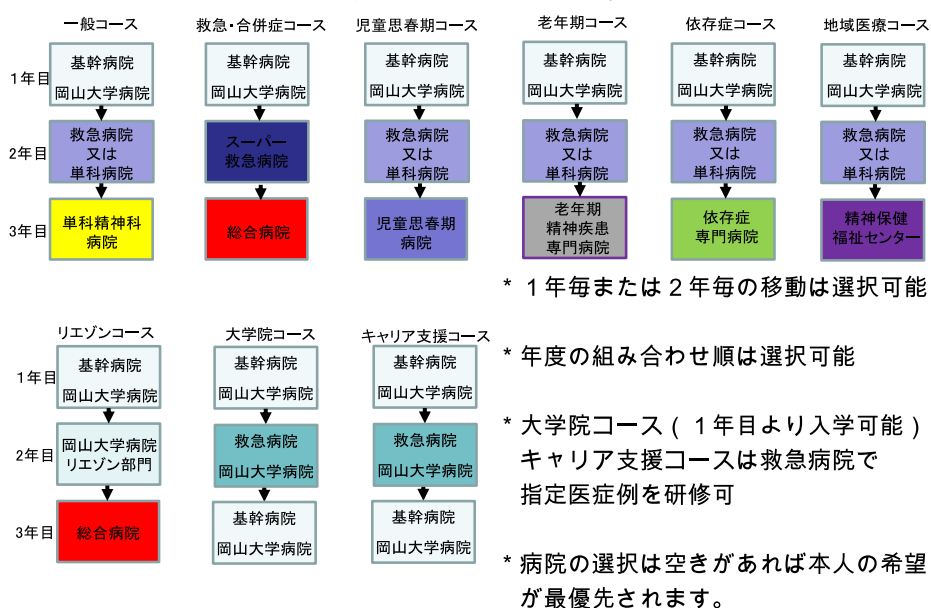
専攻医はこれらの施設をローテートしながら研鑽を積み、精神科専門医だけでなく精神保健指定医資格も取得することを目標とします。

基幹病院を中心に、臨床研究を行える病院が多数あり、将来、日本や世界の精神医学研究をリードする人材育成も目指しています。とくに岡山大学病院は臨床研究中核病院や橋渡し研究加速ネットワーク中核施設でもあり、高次元の研究に触れる機会も持つことも可能です。

一方、育児や介護など医師としての研修と家事の両立を支援するシステム（キャリア支援枠）が、岡山大学病院では充実しており、すでに利用している医師も多数います。これを利用して、子育て中の専攻医などを支援していくことが可能です。

精神医学は、極めて幅広い領域を包含しており、治療的方法論も生物学的、心理学的、社会的とさまざまな側面があります。広い精神科領域を学び、多様な患者さんのニーズに応えるためには、指導医が広い視野で物を眺めることができること、多様な治療者の存在をお互いに尊重し、認め合う環境があることが必須です。この多様性は伝統的に岡山大学精神科の特徴であり、様々な志向を持った専攻医の関心に応えることができるものです。

専門医研修プログラム ローテーションモデル



5、応募にあたっての連絡事項

研修や見学希望などのお問い合わせは医局長川田清宏 (Email: seishin@cc.okayama-u.ac.jp) までお気軽にご連絡下さい。

教室 HP : <http://psychiatry.ccsv.okayama-u.ac.jp>